

秋田県チャレンジド・スポーツ連盟

設立趣旨について

本県の特別支援学校の高等部卒業生は、毎年約200名になります。多くの卒業生は、企業等への就職や施設等での福祉的就労をし、それぞれの障害の状態や能力・適性等に応じて社会参加しています。

特別支援学校在籍時には、各学校で部活動を設置しているほか、将来の趣味や生きがいづくりに結びつくような学習を行っています。また、各学校では、「卒業生の集い」や「青年学級」を実施しており、年数回は、その学校の卒業生が集まって、趣味的活動や学習会を行っています。しかし、日常的、継続的に趣味的活動や生きがいづくりに結びつくような活動の場が十分でなく、多くの卒業生は仕事以外での社会参加はなかなか進んでいない状況があります。

また、現在、障害者スポーツの全国大会出場については、知的障害サッカー、男女バスケットの県代表として、他に出場可能なチームがないため、秋田県特別支援学校体育連盟（略称 特体連）のチームが出場しておりますが、同チーム選手の4分の3は卒業生で構成されています。特体連は、本来特別支援学校の児童生徒の体育活動振興を目的とした学校教育団体であるため、社会人のスポーツ活動まで担っている現状は無理があり、代表チームの運営が年々難しくなっております。

以上のような課題を解決するため、本連盟は次の活動を行います。

- （１） 全国大会出場を目指すチームを運営し、障害者スポーツについての社会啓発を行う。**
- （２） 障害のある方々のスポーツ活動を振興し、健康づくりや生きがいづくりに貢献する。**

（１）については、これまでの特体連のサッカー、男女バスケットボールチームの運営を引継ぎ、一層の強化に努め、全国大会出場と好成績を目指します。

（２）については、特別支援学校に在籍している中学部、高等部の生徒や中学校・高等学校に在籍している障害のある生徒から社会人を対象として、スポーツを楽しむ事業を実施します。

発足当初は、スタッフも選手も特別支援学校の関係者が中心となりますが、本連盟の周知に努力し、徐々に広く地域の方々から支援していただけるような団体を目指してまいります。また、NPO法人化に向けての準備を行い、安定した財政基盤による効果的な事業実施に努めます。